

当該報告の内容と長期優良住宅先導的モデル事業の提案申請書に記載されている提案の内容との適合状況は、次のとおりであることを証明する。

1. 先導的な提案内容への適合状況

提案項目	提案概要	適合性確認の方法	適合性の評価
構造躯体の耐久性 (劣化対策)	1. 現状調査 木材の腐食、蟻害、 床下土間のカビ等の 調査。断熱材の状態、 充填部位や種類、厚さ 等の調査	事前調査書・写真等	適 ・ 不適
	2. 床下の防湿 床下空間の良好環境	工事記録書	⓪ 適 ・ 不適
	3. 壁内に気流止めの施工 及び壁内結露防止	工事記録書	⓪ 適 ・ 不適
住宅の耐震性	住宅性能表示 耐震等級 1 以上へ改修	耐震診断表	⓪ 適 ・ 不適
内装・設備の維持管理 の容易性	1. 改修部分の配管に鞘管を 採用しメンテナンスを容易 にする	工事記録書	⓪ 適 ・ 不適
	2. 天井、床の改修部分に点 検口を設け、管理しやすく する	工事記録書	⓪ 適 ・ 不適
変化に対応出来る良質 な住居空間	高断熱による温度差の少な い室内環境。冬季でもオー プンな暮らしを実現する	完成写真	⓪ 適 ・ 不適
長期に利用される躯体 において対応しておく べき性能 (省エネルギー対策)	1. 断熱材の補充、付加断熱、 開口部強化、熱交換換気 の採用などを行い、全地 域で次世代省エネ基準等 級 4 を目指す。I 地域 1.6、 II 地域 1.9、III 地域 2.4、 IV・V 地域 2.7。但し、I 地域で A 工法の場合は II 地域同等とする。	QPEX による計算書 工事計画書	適 ・ 不適
	2. ペアガラスの機能を生か した適材適所の使い方	QPEX による計算書	適 ・ 不適
	3. 気密性能の向上	気密測定結果表	⓪ 適 ・ 不適
長期に利用される躯体 において対応しておく べき性能 (バリアフリー性)	高断熱による温度差の少な い室内環境によりオー プンな間取りが可能。バ リアフリー改修を容易に する	完成写真	⓪ 適 ・ 不適

長期に利用される躯体 において対応しておく べき性能 (防耐火性能)	付加断熱は通気層がある ので火災に対して安全な 断熱材を使用する。但し、 I、II地域では難燃性で も可	工事記録書	<input checked="" type="radio"/> 適 ・ 不適
---	--	-------	---

1. 交付申請時に未提出の図書の該当する提案項目についてのみ記入すること。
2. 記入した提案項目の適合性を建築士が確認し、その結果を適合性の評価欄に記入すること。なお、確認をする建築士は、実績報告様式別添1を作成する建築士とすること。
3. 「提案項目」、「提案概要」、「適合性確認の方法」欄には、提案申請書様式6に記載してある内容を記入すること。欄は適宜追加すること。
4. 「適合性の評価」欄には、どちらか該当する方に○をつけること。